

## 編集後記

---

- 年度末になると研究業績の一覧を大学に提出しなければなりません。その際、「査読制度のあるジャーナルに掲載された論文」を区分して示すことが、最近、求められるようになりました。会計学では残念ながら査読制度を設けている和雑誌が少なく、私は後ろめたい思いをしながらゼロと記入します。その意味では『現代ディスクロージャー研究』は貴重な存在です。今後、発表論文について上記のような区分が一般的になれば、われわれ会計学者の多くは主要業績をゼロと記入しなければならないでしょう。そのような事態を回避するためにも、会員の皆様、どうぞ本誌へふるってご投稿下さい。
- 第3号への投稿は全部で5本でした。査読者は「投稿規定」で示しましたが、非常に丁寧に読んでいただき、貴重なご意見を賜りました。査読者のみなさまには改めてお礼を申し上げます。厳密な査読と論文修正のプロセスを経て、3本の論文が採択されました。
- 第3回研究大会は日本大学商学部で開催されました。「新世紀の情報公開と開示」を統一テーマにして、活発な議論が行われました。第4回大会は名古屋市立大学経済学部で開催される予定です。皆様の協力を得て、ディスクロージャー研究会と『現代ディスクロージャー研究』が、ますます発展することを祈っております。学会事務局長の柴健次氏が御留学のため、第3号の編集事務は須田が担当しました。いろいろご迷惑をおかけしたことをお詫びします。

(須田)

## 現代ディスクロージャー研究 No.3

---

2002年3月30日 発行

◎発行者 ディスクロージャー研究会  
発行所 〒564-8680  
大阪府吹田市山手町3-3-35  
関西大学商学部：柴研究室内  
TEL 06-6368-1121(代)

印刷所 ナニワ印刷株式会社

---